

名古屋城三の丸遺跡

R5. 発掘通信

第2号 2023. 7. 12.



瓦・植木鉢など遺物の取り上げ作業 (001SK)



042SK 甕の検出状況



慎重に甕を取り外す (042SK)



漆喰片を取り除くと下に瓦片 (025SK)



常滑窯産の井戸筒 (104SE)

発掘調査を開始して一ヶ月半が経過しました。現在、武家屋敷の屋敷裏と想定される範囲 (Aa・Ab 区) の発掘調査を行っています。

◆調査範囲の北東部 Aa 区◆

北東部にゴミ捨てあな（^{はいきどこう}廃棄土坑）001SK が検出されました。上層に瓦や江戸時代後期以降に作られるようになった植木鉢が入っていました。左上写真からではわかりにくいかもしれませんが、たくさん出てきています。

天地逆に据えられた埋甕遺構 042SK は、ほぼ完全な形で甕を取り外すことができました。この甕は18世紀～19世紀にかけて作られた常滑窯産の製品です。また、^{すいきんくつ}水琴窟を想定して調査している埋甕遺構 025SK では漆喰片を取り除いた下から甕を囲うように瓦片がでてきました。

◆調査範囲の北西部 Ab 区◆

こちらの屋敷裏では埋甕遺構を4基検出しました。そのうちの2基が井戸であることが確認されました。どちらも底がない甕のように見える常滑窯産の「井戸筒」が3段以上積まれています。1つの大きさは直径が約60cm、高さが50cmほどです。

(梶田真由)

<< 地元説明会のお知らせ >>

今回の調査成果の説明・出土遺物の展示を行います。

日時：7月22日（土）10時30分～（*雨天中止）

護国神社から道路を越えた東側のフェンス内が調査地点です。調査区への入場口は敷地南側に設ける予定です。駐車場はありません。公共交通機関を利用してお越しください。

愛知県埋蔵文化財センター調査課 0567-67-4163

調査担当 武部 080-1571-4987



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24
<http://www.maibun.com>

調査支援



〒581-0034 大阪府八尾市弓削南3-20-2
<https://shimadagumi.co.jp>